

## 平成24年度建設副産物実態調査結果（四国地方版）について

平成26年3月27日

四国地方整備局

平成24年度に四国地方の建設工事から排出された建設副産物<sup>注1)</sup>について、再資源化及び排出量等の状況の調査結果をとりまとめましたので公表致します。

## 調査結果の概要

## 1. 再資源化及び排出量等の動向

## (1) 建設廃棄物

平成24年度の建設廃棄物の再資源化・縮減率<sup>注2)</sup>は、95.6%と前回調査（平成20年度）より4.0ポイント向上しています。品目別にみると、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材<sup>注3)</sup>、建設汚泥で向上しています。

平成24年度の建設廃棄物の排出量は、147万トンとなり、前回調査（平成20年度）より14.0%減少しています。また、最終処分量は8万トンと前回調査（平成20年度）より42.9%減少しています。

## (2) 建設発生土

平成24年度の利用土砂の建設発生土利用率<sup>注4)</sup>は90.4%と前回調査（平成20年度）より7.6ポイント向上しています。

平成24年度の建設発生土の搬出量は、573万<sup>m</sup>となり、前回調査（平成20年度）より12.1%増加しています。

2. 「建設リサイクル推進計画2008」<sup>注5)</sup>の目標達成状況

アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊及び建設汚泥（再資源化・縮減率）、建設廃棄物（再資源化・縮減率）、建設混合廃棄物（排出量削減）、建設発生土（利用土砂の建設発生土利用率）については平成24年度目標を達成していますが、建設発生木材（再資源化率、再資源化・縮減率）については平成24年度の目標を未達成です。

	平成17年度 (A)	平成20年度 (B)	平成24年度 (C)	平成24年度(C) -平成20年度(B)	建設リサイクル推進計画2008	
					平成24年度 目標値	目標値 達成状況
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率 <sup>注6)</sup>	98.9%	96.3%	98.8%	2.5%	98%以上	達成
コンクリート塊の再資源化率	98.2%	97.2%	99.1%	1.9%	98%以上	達成
建設発生木材の再資源化率	61.5%	64.8%	75.0%	10.2%	77%	未達成
建設発生木材の再資源化・縮減率	82.7%	82.3%	85.5%	3.2%	95%以上	未達成
建設汚泥の再資源化・縮減率	70.6%	67.9%	88.6%	20.7%	82%	達成
建設混合廃棄物の排出量	13万トン	5万トン	5万トン	0万トン	-	-
建設混合廃棄物の排出量削減	-	57%削減	57%削減	-	平成17年度比 30%削減	達成
建設廃棄物の再資源化・縮減率	98.2%	91.6%	95.6%	4.0%	94%	達成
利用土砂の建設発生土利用率	70.6%	82.8%	90.4%	7.6%	87%	達成

注1) 建設副産物：建設工事に伴って副次的に得られる物品であり、建設廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材など）及び建設発生土（建設工事の際に搬出される土砂）の総称。

注2) 再資源化・縮減率：建設廃棄物として排出された量に対する再資源化及び縮減された量と工事間利用された量の合計の割合。

注3) 建設発生木材については、伐木材、除根材等を含む数値である。

注4) 利用土砂の建設発生土利用率：土砂利用量（搬入土砂利用量+現場内利用量）のうち土質改良を含む建設発生土利用量の割合。

注5) 「建設リサイクル推進計画2008」（国土交通省 平成20年4月策定）

注6) 再資源化率：建設廃棄物として排出された量に対する再資源化された量と工事間利用された量の合計の割合。

## &lt;問い合わせ先&gt;

四国地方整備局 企画部 技術管理課 課長補佐 宇都宮(内線3315) 基準第二係長 川瀬(内線3341)  
TEL 087-851-8061 (代)